

貸借対照表

(2026 年 3 月 31 日 現在)

エイベックス・マネジメント株式会社

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産	3,258	流動負債	3,978
現金及び預金	87	買掛金	41
売掛金	2,512	短期借入金	1,121
商品及び製品	7	リース債務	12
仕掛品	45	未払金	2,391
貯蔵品	18	未払印税	28
前渡金	2	未払費用	13
前払費用	16	未払法人税等	0
前払印税	4	賞与引当金	23
未収入金	528	役員賞与引当金	2
立替金	20	預り金	22
その他	40	前受金	299
貸倒引当金	△ 24	その他	21
固定資産	298	固定負債	19
有形固定資産	37	リース債務	19
車両運搬具	3		
工具器具備品	3		
リース資産	29	負債合計	3,998
無形固定資産	2	[純資産の部]	
電話加入権	0	株主資本	△ 441
ソフトウェア	2	資本金	80
投資その他の資産	258	資本剰余金	580
敷金及び差入保証金	114	その他資本剰余金	580
破産更生債権	117	利益剰余金	△ 1,101
繰延税金資産	135	利益準備金	25
その他	9	繰越利益剰余金	△ 1,126
貸倒引当金	△ 117	純資産合計	△ 441
資産合計	3,557	負債・純資産合計	3,557

(注) 当期純利益 132百万円

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、貯蔵品	移動平均法による原価法 (貸借対照表価額は収益性の低下による簿価 切下げの方法により算定)
仕掛品	個別法による原価法 (貸借対照表価額は収益性の低下による簿価 切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。（ただし1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備については定額法によっております。）

なお、耐用年数は以下のとおりであります。

車両運搬具	6年
工具器具備品	3～8年

(2) 無形固定資産

定額法

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（2年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は営業外損益として処理しております。

(2) その他

- ① 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。
- ② 記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。
- ③ 記載金額が「－」は該当金額がないことを示しております。